

第3学年1組 社会科学習指導案

指導者 高石 雅人

1 小単元名 のこしたいもの、つたえたいもの

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領第3・4学年の内容の(5)「地域の人々の生活について、見学、調査したり、年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のイ「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を扱うものである。ここでは、文化財や年中行事について、その保存・継承に携わる人から話を聞いたり、実際に調べたりする中で地域の歴史を知り、地域の人々の願いや工夫、努力を考えられるようにしたい。また、自分たちも地域の伝統や文化を受け継いでいく一員であるという意識を養い、地域社会の一員としての自覚も育てていきたい。

これまでに児童は、「わたしたちのまちや市の様子」において学区探検を行い、学校のまわりの様子を地図にまとめる学習や、千葉市の土地の使われ方について予想し、調査を行い、白地図にまとめて地域によって土地の使われ方が違うことを学習してきた。また、総合的な学習の時間においても、地域の学習を取り扱っており、作新地区の土地の使われ方の特徴については理解を深めている。

本単元では、小単元「古い道具と昔の暮らし」からではなく、「のこしたいもの、つたえたいもの」から学習に入るよう指導計画を変更した。それは、作新の町の起源に関わる春日神社を教材として使用するからである。この作新の町は、昭和14年以前は野馬が多くいる牧であり、人家はほとんどなかった。しかし、中台武左衛門の働きにより開墾され、それがこの町の始まりであり、その開墾の記念碑が春日神社に残されている。つまり、春日神社を教材として扱うことでこの町の始まりから現在に至るまでの歴史を学ぶことになる。そのことで児童の中に昔という概念や時間の移り変わりがつかめると考えられる。その時間軸の概念の中で、古い道具の変化を取り扱うことで暮らしの変容をよりつかみやすくなると考えられる。さらに、春日神社について調べる中で地域の歴史を身近に感じ、そこにかかわった人々の思いや願いに触れることで、人々が受け継いできた文化財や年中行事を、今後も継承し、自らが参画していく意欲を高めるようにしたい。

本学級の児童は、作新地区の町について好意的な印象をもっており、大人になっても暮らしていきたいと考える児童も多くいる。しかし、作新の町も歴史的に見ると、その時、その時に住んでいる人々が住みやすい町にするために努力・工夫・改善を行ってきた結果として現在がある。本小単元が歴史単元の導入に当たることから、春日神社という教材を使うことで昔と言う概念や時間の移り変わりがつかめるようにする。そして、本単元を通して、歴史的な視点で事象を観察する力を高め、人々の努力・工夫について調べ、表現できるようにしていく。

また、本小単元では、単元の「つかむ」の段階で、春日神社の今と昔の写真や、本校の5年生が調べた自由研究を聞いたり、神社を管理している細貝さんの話を聞いたりすることで関心を深めさせる。その際、1つ1つの事象の観察を丁寧に行い、気付いたことや、疑問に思ったことを取り上げ、春日神社や例大祭における細貝さんたち地域の人々の願いや努力・工夫について整理し、単元を通じた学習問題の持ち方をつかめるようにしたい。そして今後も、社会事象を観察するための観点の学び方の素地を養っていきたい。

3 児童の実態調査（男子 22名 女子 17名 計39名）

① 作新の町は好きですか。

とても好き	好き	あまり好きではない	きらい
19人	20人	0人	0人
・公園が多い 10人 ・にぎやか 4人 ・くらしやすい 4人		・お店が多い 8人 ・人が優しい 4人 ・自然が多い	

② 大人になっても作新の町に暮らしたいですか。

絶対暮らしたい	暮らしてもいい	暮らしたくない	絶対暮らしたくない
19人	15人	5人	0人
・知り合いが多いから 8人 ・慣れていて過ごしやすい 6人 ・優しい人が多い 4人 ・大人になったら〇〇な町にしていきたい (明るい・安全・にぎやか)		・他の場所にも興味がある ・いろいろな仕事をしてみたい	

③ 作新の町のいいところはどこでしょうか。

・優しい人が多い 12人 ・にぎやか 4人	・お店や楽しいものがたくさんある 6人 ・笑顔がいっぱい 3人 ・自然が多い 2人
--------------------------	---

④ 作新の町に昔からある古いものについて知っているものを書きましょう。

・神社 7人 ・学校 4人 ・ライオンズマンション 2人

⑤ 作新の町で行われるお祭りについて知っているものを書きましょう

祭りの名前 (場所)	参加したことがあるか			
ぐるぐる公園 33人	ある	29人	ない	4人
作新台公園 22人	ある	18人	ない	4人
花見川団地 12人	ある	12人	ない	0人
みどり公園 4人	ある	4人	ない	0人
神社公園 (春日神社) 2人	ある	1人	ない	1人

⑥ この神社を知っていますか

知っている	9人
(春日神社)	
知らない	30人



⑦ この神社にある石碑があります。そこにはどんなことが書いてあるでしょうか。

・神社を作った人の名前 1人 ・さわらないで 1人 ・作られた日 1人

⑧ どうしてこの神社でお祭りがおこなわれているのでしょうか。

- | | | | |
|--------------------|-----------------|------------|-----|
| ・みんなを喜ばせるため 11人 | ・神様に感謝を伝えるため 5人 | | |
| ・みんなが元気に暮らせるように 3人 | | | |
| ・何かのお祝い | ・人々を救ったご褒美として | ・死んだ人を思い出す | ・伝統 |

⑨ 作新の町は100年前はどのような様子だったのでしょうか。

- | | | | |
|-------------|--------------|------------|---------|
| ・田んぼだらけ 12人 | ・建物がなかった 10人 | ・自然が多い 3人 | |
| ・戦争でボロボロ | ・人がいっぱい | ・働いている人が多い | ・何もなかった |

⑩ 作新の町のためにこれから自分ができることはなんだろうか。

- | | | | |
|--------------------|-----------------------|-----------|------------|
| ・ごみを拾って町をきれいにする 9人 | ・楽しいこと(もの)を作っていきたい 3人 | | |
| ・地域の人と助け合う | ・町のことをよく知る | ・楽しい学校にする | ・交通ポスターを作る |

(考察)

【関心・意欲・態度】①～④より

本学級の児童は、大概自分たちの住む町に対して愛着をもっている。その理由としては、「知り合いや優しい人が多い」など自分の身の回りの人に対する意見や、「お店や公園が多い」など施設面に対する意見から「過ごしやすい」という考えが多く見られた。しかし、文化財や年中行事については関心のある児童がとても少ない。昔から作新の町にある古いものとしては、神社やお寺という回答はあったが、抽象的であり、〇〇神社というように具体的な名前を書く児童は見られなかった。

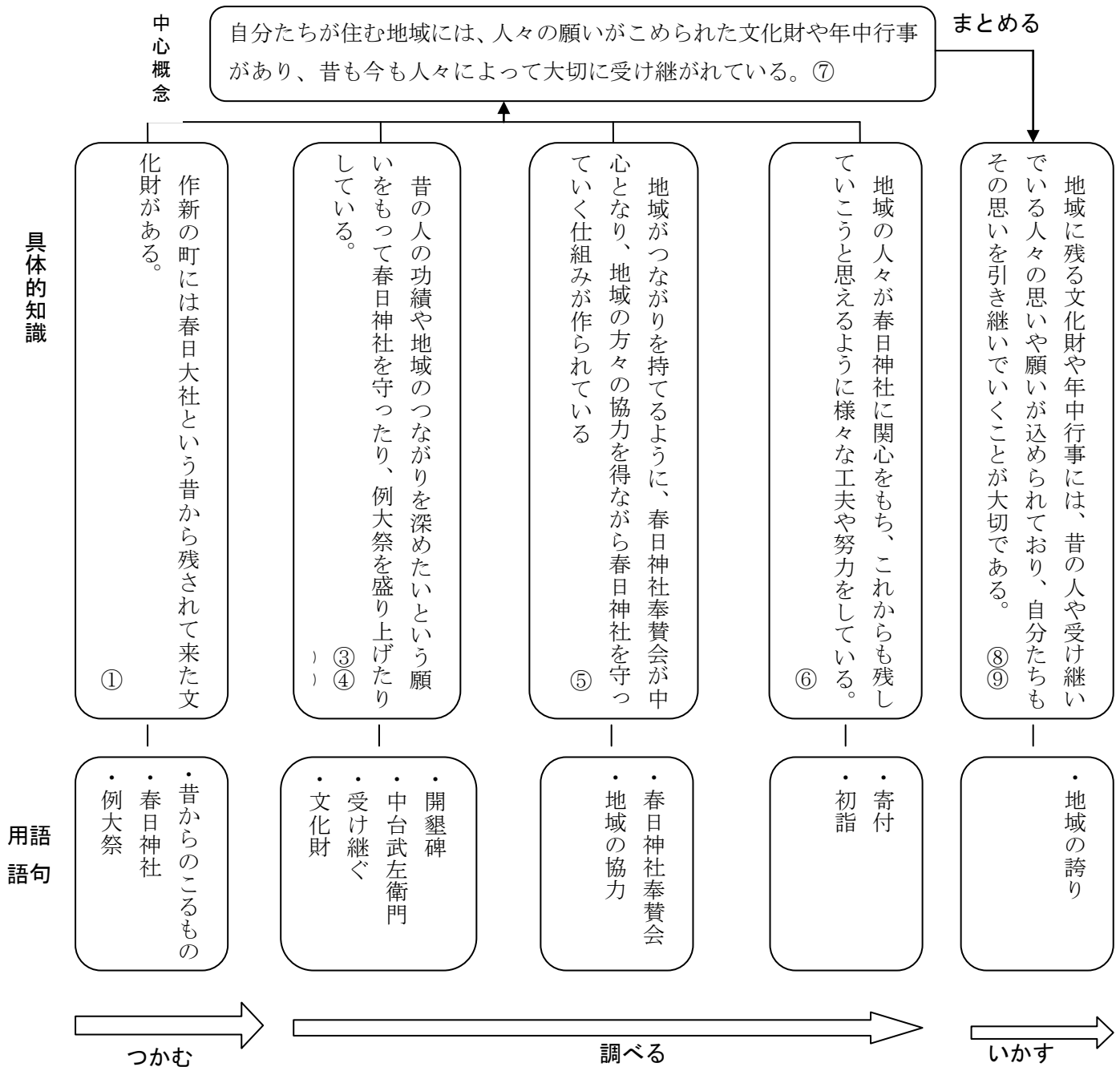
【知識・理解】【思考・判断・表現】⑤～⑩より

本小単元で昔から残る古いものとして取り扱う春日神社について知っている児童は23%しかおらず、神社で行われる例大祭についても参加したことのある児童は1人しかいなかった。お祭りがおこなわれている理由についても、夏に公園で行われているお祭りと同じように、「地域を盛り上げるため」というような意見が多く見られた。また、神社にある石碑にどのようなことが書いてあるのかという質問に対しても、知っている児童はおらず、石碑がどのような理由で建てられ、どうして残されているのかというところまでの理解はできていない。

過去に目を向け、100年前の作新の町の様子については、『建物がない、田ばかりだ』という考えが多く見られた、『何もなくても田はある』と考えているようだった。田が作られるためにも多くの人々の努力や苦労があったことまでは考えられていない。また、将来的に作新の町のために自分たちにできることについても、美化、協力、安全という視点から考えられてはいるが、ここに、地域の人々が受け継いできた思いを地域に住む一人として自分たちも「受け継いでいく」と言う思いをもち、そのために自分にできることとを考えていけるようにしていきたい。

本小単元では、普段、何気なく通り過ぎ、存在をあまり認識されていない春日神社が多くの人々により、壊れてもいないのに建て替えが行われたと言う事実を導入で取り扱い、春日神社に対して関心をもたせられるようにしたい。また、春日神社の管理をしている細貝さんの話を聞くことで、春日神社に関わる人についても関心をもてるようにし、そこから疑問を見出し、学習問題を作るようにする。そして、春日神社や例大祭、地域の人々として細貝さんを軸にし、調べ学習を行っていく。その活動の中では、実際に話を聞いたり、資料から歴史的背景をつかんだりし、様々な人々の努力や工夫があったことをとらえさせたい。そして、単元を通して学んだことから、地域への思いを地域の方々に伝えられるような単元構成にしていきたい。また、その地域への思いを「地域の誇り」として表現し、まとめ、地域に発信していきたいと考えている。

4 知識の構造図



※②は学習計画のため、知識の構造図には記載しておりません。

5 小単元の目標

- 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事の様子や、それらには地域の発展や人々のつながりなどへの願いが込められていることを理解し、作新の町に対する誇りと愛情をもつことができる。
- 地域の人々が受け継いできた年中行事から課題を見出し、見学・調査をしたり、保存・継承に携わる人から話を聞いたりして調べたことをまとめるとともに、年中行事に込められた地域の人々の願いや保存・継承するための努力について考え、適切に表現することができる。

6 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
社会的事象への 関心・意欲・態度	地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事に関心をもち、それらに対する人々の願いや保存・継承するための工夫や努力について考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	文化財や年中行事にこめられた地域の人々の願いと保存・継承するための工夫や努力とを関連づけて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	地域の文化財や年中行事を見学・調査したり、保存・継承に携わる人から話を聞いたりして、文化財や年中行事の内容やいわれ、取組みについて必要な情報を集め、読み取っている。
社会的事象についての 知識・理解	文化財や年中行事には、地域の生産活動やまちの発展、人々のまとまりなどへの願いがこめられていることを理解している。

7 単元の指導計画（9時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容
つ か む	2 (本時) 1/2	○春日神社・例大祭・細貝さんについての資料から、疑問をもち学習問題をたてる ・昔から残っているものとして、春日神社について調べていくことをつかむ。 ・例大祭という他のお祭りとは違うお祭りが行われていることに気付く。 ・春日神社に関する人として細貝さんについて関心をもつ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">細貝さんたちは春日神社をどのように守り続けてきたのだろうか。</div>
		○学習問題に対する疑問や調べたいことをもとに、学習計画を立てる。 ・疑問を解決するためにどのように調べていくのか考え、学習計画を作る。
調 べ る	2	○細貝さんたちはどうして、春日神社を守ったり、例大祭を行ってきたのだろうか。 【人々の願い】 ・昔の人の功績を讃え、地域のつながりを深めるために守り、受け継いでいることに気付く。
	1	○細貝さんたちはどのようにして春日神社を守ってきたのだろうか。 【仕組み】 ・春日神社奉賛会を中心に地域の方々の協力で春日神社が守られてきたことをつかむ。
	1	○細貝さんたちは春日神社を守るためにどのような努力や工夫をしてきたのだろうか。 【努力・工夫】 ・地域のためになるように大勢の人々を巻き込めるような活動をしたり、子供たちが関心を持てるような工夫をしたりしている。

まとめる	1	<p>○調べたことを整理し、作新の町に残されてきた古いものについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日神社や例大祭と細貝さんたち地域の方々とのつながりを整理する。 ・作新の町を良くするために自分たちにできることは何か考え話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>細貝さんたちは、地域の人々が協力していくことを願い、様々な工夫や努力をして春日神社を守ってきた。</p> </div> <p>○細貝さんに今回の学習で学んだことから、地域に対する思いや考えを「地域の誇り」としてまとめる。</p>
いかす	2	<p>○調べてきたことをもとに細貝さんへ手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をしてきて地域住む一員としてどのような思いをもったのかを細貝さんへの手紙という形にまとめる。 <p>○春日神社の初もうでに飾る灯籠に使う絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のためにできることとして、春日神社の行事の手伝いをする。

8 市教研社会科研究主題のための方策

「みえる わかる・・・いかす」

よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科学習

<本年度主題解明のための方策>

- | |
|-------------------------------------|
| ① 目指す子どもの姿、習得すべき知識・概念、身に付けさせたい力の明確化 |
| ② 追求意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発 |
| ③ 主体的に学び、参画への意識が高まる学習過程の工夫 |
| ④ 社会認識の深まりや社会参画の資質や能力を見取る評価の工夫 |

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

③ 主体的に学び、参画への意識が高まる学習過程の工夫

○ 作新に古くから残るものとして、現在、児童にはあまり関心を持たれていない春日神社を通して、それに関わるものについて「知りたい」という思いをもち、学習問題を作れるようにしたい。そこで、本時では単元を貫く学習問題を作るために、まず事象の観察を丁寧に行う。まず最初に、身近なものという意識を持たせるために本校5年生の児童が夏休みの自由研究で春日神社について調べた内容の発表を聞く。次に、今と昔の春日神社を比較することで、どうして壊れてもいないのに建て替えられたのか、お金はどうしたのかと言う疑問をもち、実際に立て替えに関わった細貝さんの話を聞くことで、疑問を解決した上で新しい疑問をもてるように関心を高めていく。そこから出てきた疑問を「願い」「仕組み」「努力・工夫」の視点に分け、そこから学習問題を作るようにしていく。社会事象を観察するための観点についても本単元を通して今後の社会科の学び方の素地を養っていきけるように丁寧に扱っていこうと考える。

また、小単元を通して地域の人々が地域のためにどのようなことをしているのかということを知ること、作新の町に住む自分たちにもできないことがないかと考えられるようにしていきたい。そのために本小単元では地域の人から地域の歴史について話を聞き、学習を行い、単元の終わりに再

度細貝さんに対し地域についての思いを伝えられるようにしたい。人の生き方・考え方を通して地域の歴史・人々の思いに考え巡らせる学習を構成したいと考える。

9 本時の指導（1／9）

（1） 本時の目標

- 作新の町に残されてきたものに関心を持ち、単元を貫く学習問題を作ることができる。
(関心・意欲・態度)

（2） 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
5	1. 春日神社について写真や5年生児童の自由研究から関心を持ち、気付いたことを整理する。 ・ 神社公園の神社って春日神社っていうのか。 ・ 春日神社はとても昔からある。 ・ 毎年地域の人が集まる例大祭というお祭りが行われている。	○春日神社についてわかる事実だけを整理する。	○今の春日神社の写真 ○児童の自由研究
10	2. 30年前の春日神社と今の春日神社を比べる。 ・ 建物がきれいになった。 ・ 鳥居もきれいになった。 ・ 建物の前の木がなくなった。 ・ 看板ができた。 ・ たくさんの人が寄付をした。	○2つの資料を見比べて、建物や鳥居が変化したことに気付けるように声をかける。 ○どれだけの人が立て替えに協力したのかつかめるように一覧表を提示する。	○1985年の春日神社の写真 ○寄付金をした人々の一覧表
7	3. 春日神社の建て替えを行った細貝さんの話を聞き、わかったことを整理する。 ・ 500万円かけて建て替えた。 ・ 壊れたわけではないが建て替えた。 ・ 壊れた時は、みんなで直した。 ・ 春日神社を守っている人たちがいる。	○内容を聞き取れるように短い映像にし、メモを取らずに聞くことに専念させる。 ○大事な言葉が拾えるように何度か映像を流す。	○細貝さんのインタビュー映像 ○人物写真
10	4. 今日学習したことの中から調べてみたいことや疑問に思ったことを発表する。 【グループ1】 ・ なぜ、多くの人がお金を出したのだろうか。 ・ どうして春日神社を残していこうと思ったのか。	◆調べていきたいことを意欲的に考えている。(発言)	

	<ul style="list-style-type: none"> ・細貝さんはどうして春日神社のためにいろいろなことをしているのか。 <p>【グループ 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人たちが守っているのか。 (細貝さん以外にはどんな人がいるのか) ・例大祭を行っている人たちはどんな人たちか。 ・お金を出した人たちはどんな人たちか。 <p>【グループ 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細貝さんは他にはどのようなことをしているのか。 ・春日神社ではお祭り以外にどのようなことをしているのか。 ・残していくために大変だったことはなかったのだろうか。 	<p>○出てきた疑問を、分けて板書することで共通点を見出せるようにする。</p>
8	<p>5. 疑問や調べたいことが3つに分けられることを知り、それぞれのグループ名を考える。</p>	<p>○そのグループにおける知りたいことはどんなことか考えることでグループ名を作り出せるようにする。</p>
	<p>【グループ 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日神社を守っている人の気持ち <p>【グループ 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日神社を守っている人たち <p>【グループ 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日神社を守るために頑張っていること 	
5	<p>6. 単元を貫く学習問題を作る。</p>	<p>○3つのグループ名を確認させて、そのすべてを調べられるような学習問題が単元を貫く学習問題であることを確認する。</p> <p>○主語を「細貝さんたちは」にするよう提示する。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">細貝さんたちは春日神社をどのように守り続けてきたのだろうか。</p>	